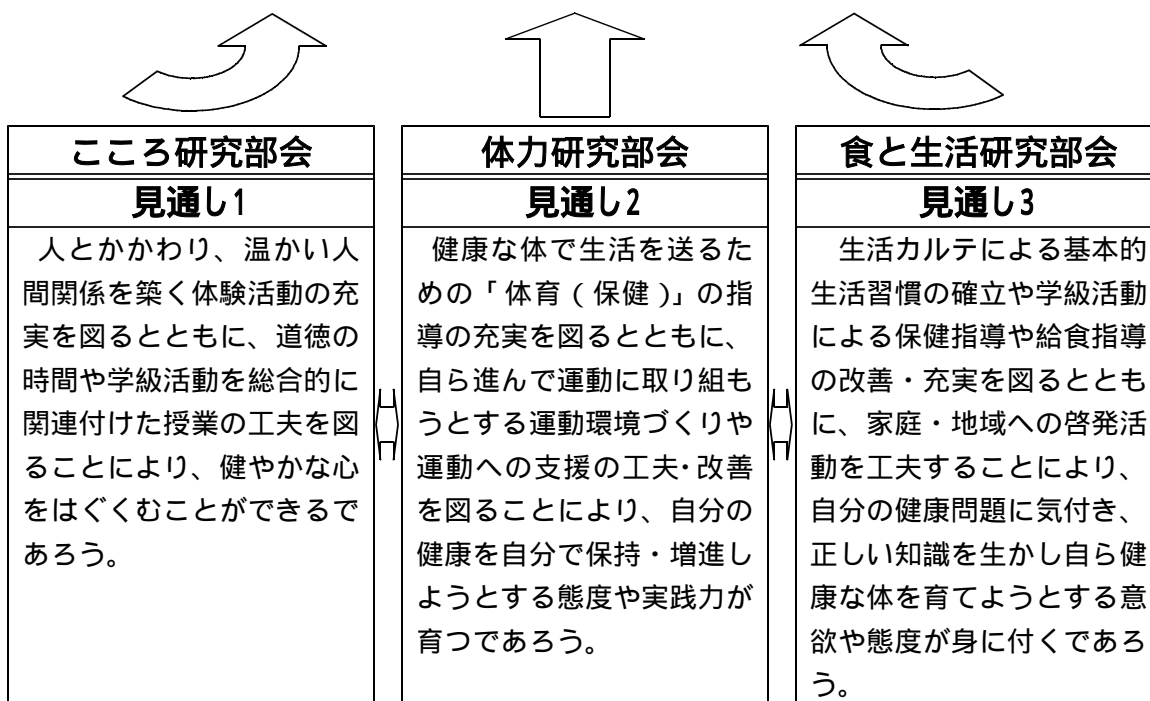


## 研究の見通し

こころ・体力・食と生活の視点から健康教育を実践推進するならば、自らの健康に関心を持ち、進んで健康な生活をしていこうとする児童を育成することができるであろう。

### 自ら健康な生活をしていこうとする児童の育成



## 研究の内容と方法

### 1 基本的な考え方

健康を『心身の健康』として「心」と「体」の両面から捉え、実践を推進する。また、本校でとらえた「自ら健康な生活しようとする児童」とは

「規則正しい生活ができる」「好ききらいしないで食べる」「進んで体を動かし、継続できる」「元気のよいあいさつができる」「何事にも前向きに活動できる」状態であるとした。

『健康教育でめざす児童像』の設定

低学年 『こころもからだもけんこうな子』

中学年 『けんこうな生活をする子』

高学年 『自ら進んで健康な生活をする子』

### 2 研究の内容

既存する健康教育に関連した教育活動のねらいの明確化と改善・充実

『こころ研究部会』『体力研究部会』『食と生活研究部会』の三部会により、健やかな心と体をはぐくむ支援・指導の工夫

各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等をかかわらせ、健康意識を高める学習指導の充実

学校保健計画の見直し作成・実践

### 3 組織

